嘔吐が発生した場合の対応について

嘔吐が発生した場合、ノロウイルスをはじめとする胃腸の感染症を疑う必要があります。嘔吐物そのものと、空気中からの２経路による感染リスクがありますので、以下の基本対応を徹底いたします。

【基本対応】
1. 嘔吐されたお子さまの保護者へ連絡
　速やかに保護者にご連絡し、早期でのお迎えまたは下校をお願い申し上げます。

2. 授業の中断と移動
　授業を中断し、嘔吐されたお子さま以外を、他の教室または安全な場所に移動し、その日の授業は可能な限り代替教室で行います。
　- 例: 紫明会館の場合→講堂から和室、F 教室へ移動
　- F 教室の場合→公園や紫明会館への移動

3. 衣服の処理
　嘔吐物が付着した衣服はビニール袋に密閉し、お迎え時にお渡しします。
　スクールからは代わりにジャージや新品の下着を提供いたしますので、ご自宅までの着替えとしてご使用ください。

4. 嘔吐物の処理
　嘔吐物が付着した物品、什器、床は、塩素系消毒液で徹底的な消毒・清拭を行います。ただし、ウイルスが飛散しやすく殺菌しにくいという性質上、限られた時間内に完璧に消毒しきれるかどうかは、どうしても保証できかねます。

5. 換気の実施
　窓を開け、換気扇・大型扇風機を使用して、少なくとも 60 分以上の換気を行います。

6. 参加者へのお知らせと早期帰宅の推奨
　嘔吐があった事実を、出来るだけ早く公式 LINE で参加者全員にお知らせします。受信されたご家庭は、可能であれば、お元気であってもなるべく早めの帰宅をご検討ください。

7. 帰宅後の衛生対策
　感染リスクの有無は、すぐに判明しない場合が多いです。念のため、当日の帰宅後は以下を推奨します。
　- 帰宅後すぐの手洗い・洗顔
　- 速やかな着替え
　- 速やかな入浴の実施

8. 注意喚起の配信
　嘔吐者が受診した結果、ノロウイルス等の感染症だと判明した場合、同日の参加者がご家庭で体調調査・観察をすることで、発症・感染の早期発見ができるよう、公式 LINE にて注意喚起を行います。

【罹患されたお子さまと、そのご家庭への配慮】

ノロウイルス等の感染症は、嘔吐直前まで自覚症状が無い場合、罹患後であっても発熱を伴わない場合があり、登校前に発病や体調不良を見抜くことが難しいことがあります。
ですので、嘔吐したお子さま本人や、ご家庭を責めることはお控えいただき、「おたがいさま」の気持ちで、カバーしあえる心を持っていただきたいのです。

感染症を「完全に避ける」ためには、人とは接せず、このような集団生活を伴う学習方法を避けるしかないです。

スクールで集団生活を送る、という決断をしていただいたからには、上記内容をよくご理解いただいた上で、「おたがいさま＝共助の精神」を忘れず、ご参加いただけましたら幸いです。

【予防のために】
- お子さまやご家族に体調の異変やその兆候がある場合は、すぐにスクール参加を見合わせてください。また、それに伴う参加日の振替は、気軽にご相談ください。
  - 規則正しく充分な休養（睡眠）、栄養バランスの良い食事を取る
- お子さまが小さな健康の変化でも、気軽に話せるご家庭での雰囲気作り
- 気になることがあれば、些末なことであってもでんじろうLINEに連絡しておく

他にご質問やご不明点がございましたら、遠慮なくスクールまでお問い合わせください。皆さまのご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。